

地理(日本の農林水産業)

日本の農業は、北海道を除いて規模の小さい自作農が多い。

野菜の生産は、千葉県や茨城県などの① 農業の地域や、宮崎県や高知県などの暖かい気候を利用した② 栽培の地域、長野県や岩手県などの冷涼な気候を利用した③ 栽培を中心にさかんで、温室やビニールハウスを利用した④ 農業が発達している地域もある。

農産物の⑤ 化により、国内産の農産物は安い輸入農産物におおはばに低減している。そのため、日本の⑥ 率はおおはばに低下している。

現在の日本の漁業は、漁獲量の制限が厳しくなったため、遠洋漁業や沖合漁業に従事する人が減っている。また、海外からの輸入も増加しているため、とる漁業から育てる漁業へと方針が変わっており、⑦ 漁業や⑧ 漁業の成長が期待されている。